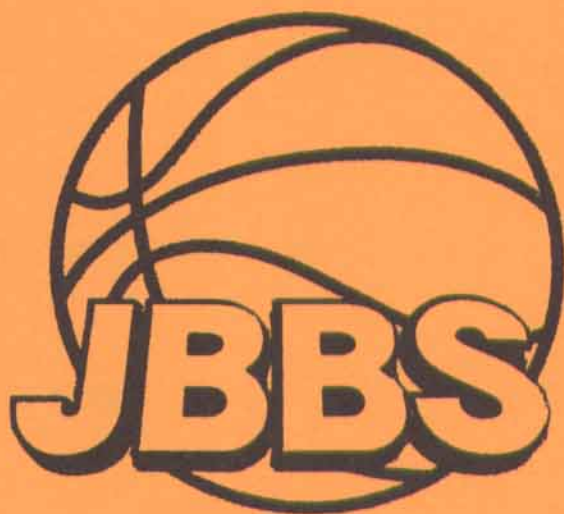


バスケットボールプラザ

Basketball Plaza

No:35



ホームページ用
抜粋版

2007年11月

NPO法人 日本バスケットボール振興会

REUSE を考える

[環境の総合情報商社]

“地球にやさしく” どこかで見たとような聞いたような言葉。

あなたはリサイクルに関心を持っていますか？

“地球環境をこれ以上汚したくない”これが私たちの願いで

あるとともに、人類に課せられた大きな課題です。

当社は携帯電話やパソコンなど、鉄を除いた金属（レアメタル）の回収、再生（リサイクル）を主な業務にしている会社です。

日本のバスケットボールの振興、発展を応援します。

リユース・ビズテック 株式会社

〒333-0842

埼玉県川口市前川2-33-1

TEL 048-263-7023

FAX 048-269-8009

代表取締役 永野 鉄洋



速戦力。



一体性能は高速フットワークのために。ゲルバーストアップセット、発進。

ゲルバーストアップセット

NEW GELBURST® UPSET / TBF645 / ¥16,275 (本体: ¥15,500)

●カラー: 0151 ホワイト×ミッドナイトネイビー・0193 ホワイト×パールシルバー

●サイズ: 23.5~30.0・31.0・32.0cm

4月下旬新発売

アシックスで調べ

検索

<http://www.asics.co.jp/basketball/index.html>



株式会社 アシックス

★ アシックスシューズのストライプデザインはアシックスの商標であり、世界の多くの国で登録された商標です。

表示価格は消費税込みのメーカー希望小売価格です。()内は消費税抜きの価格です。

商品についてのお問い合わせは「アシックスお客様相談室」までどうぞ。関東支社: 03-3624-1814、関西支社: 06-6496-5151

アシックスはバスケットボール日本代表チームのオフィシャルサプライヤーです。

アシックスはWJBLのオフィシャルサプライヤーです。

アシックスは日本オリンピック委員会（JOC）のオフィシャルサプライヤーです。

アシックスはバスケットボール日本代表チームのオフィシャルサプライヤーです。

日本代表チームオリンピック史

ベルリンオリンピック大会

[歴史部]

プラザ第34号(前号)でオリンピック選手一覧表を掲載したところ、多くの方々から反響をいただいた。

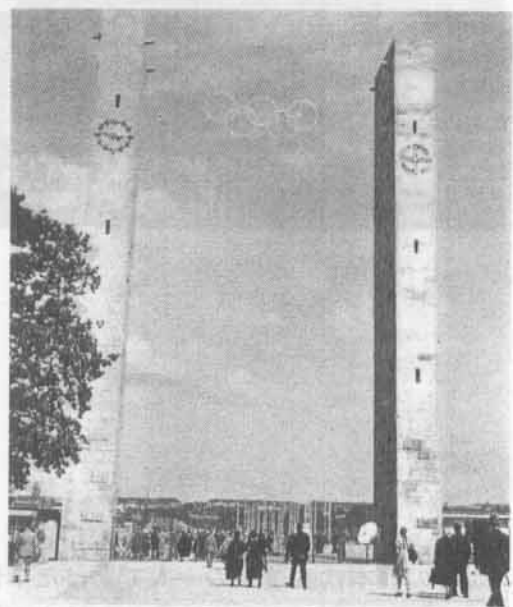
今回は昭和11年(1936)に開催されたベルリン大会に焦点を当てて、いくつかの資料を紹介してみたい。特に下記に掲げる伯林(ベルリン)大会報告書は、右から左へと文字がつづられており、2596という数字は紀元2596年(西暦1936年)を表している。

報告書表紙の写真では、ボールを奪い合う選手たちの後方に観客用のスタンドがあり、その向こうには木立が広がっている。

当時の日本代表選手の写真から、NIPPONと書かれたユニフォームを身に着けた選手たちの並々ならぬ決意の程が感じられる。

日本代表チームは、ベルリンまで船と列車で14日間もかかって到達したそうだが、シベリヤのある駅で列車の待ち時間にパス練習する風景もそのことを物語っている。

以下その頃を物語る珍しい写真などの一部をご紹介しますが、これらの原本は新宿区霞ヶ丘町の秩父宮記念スポーツ博物館・図書館に保存されており、どなたでも見ることができます。



と思う。

当時のメンバーは類のない強力なもので、抜群の強者として輝いていた東大主軸の田中秀次郎、鹿子木健日子、中江孝男等長身3名をはじめ、昭和11年度の全日本で覇権を予想された東大を破って優勝した延禮専門から、李性球、廉股鉉、帳刑鎮等のプレーヤー3人が加わり、更に脱日本タイプのプレーを駆使した京大の松井聡、名人と称された立教の前田昌保、早稲田の主演、横山堅七、宗像邸一に超高校級と言われた新潟師範の吉井橋三郎等が綺羅星の如く揃った出色なものであった。そのうえ身長においても、参加21カ国の選手にさほどひけをとらぬもので、強さと妙味を加えたチームであった。

ところで我等の相手となるべき各国の実力を分析してみると、ヨーロッパはその普及度に於いて低いし、南米も未だ日本の敵ではなかったと言える。従って、アメリカを除けば日本にとって脅威的な存在はなかった。それ故に、われ等日本チームはオリンピック第2位を夢みたとしても、無理もない。現地における一般の予想も日本とカナダを二位候補に挙げていた。

然し、試合は思いどおりにいかず、予期しない結果に終わってしまった。目標はずれの結果を考えると、まず大会競技規則に於いても、実力より組合せ運、試合運等によって左右されがちな不合理な点が見受けられる。我々はその不運に出会ったのも事実である。しかし、なんといっても度を過ぎた自画自賛が最も大きな敗因であったというのが、いつわりない答えである。

その大会の競技規則は次のとおりであった。

1. 各チームのエントリーは14人、毎ゲーム出場メンバーは7人以内。
2. メンバー交替は負傷者が出たとか、やむ得ない場合に限り認める。
3. 交替したプレイヤーは二度と競技に参加出来ない。
4. 競技方法はトーナメント、但し第一回戦と第二回戦の敗者は敗者復活戦を行い、第三回戦からは復活戦はなしとする。
5. 毎ゴールの後のセンター・ジャンプ。
6. レフリーは一人制。

以上の各項から見て、実力による結果を期待するのはいろいろ問題点がある。殊に一、二回戦の敗者と三回戦のそれでは、試合運如何によって、その結果に及ぼす影響には雲泥の差がある。

日本チームのスケジュールは第一回戦は中国、第二回戦はポーランド、第三回戦はメキシコの順であった。

第一、第二回戦は順当に勝ち進んで、第三回戦のメキシコは初めから問題視しておらず、当然、事前の対策をおろそかにしたまま、試合に臨んだ。

それが凶と出た。この試合で日本のバスケットボール全体にも言える弱点を、すっかり現わしてしまった。というのは、今日でも日本のバスケットボールはゾーンに弱い傾向があるが、殊に1930年代の初期は全般的にゾーンに対しては、殆ど関心すら持たなかった時代で、ゾーン・オフenseは極めて不得意であったのに対し、メキシコはゾーン・ディフェンスをつかっていたため、ろくなプレイも出来ず拙戦の末、敗れる破目となったのである。復活戦も無い三回戦での敗退は痛かった。

かくの如くにして、オリンピック二位の夢は霧散。その悔しさは未だに私の脳裏から消えない。

そもそも二位を臨んだのが無理だったのかと言えば、そうでもない。第二回戦で日本に敗れたポーランドが敗者戦から浮かび上がって四位に入り、メキシコが三位を獲得したことから、それは実証される。勝運の神は我を見捨てたのだろうか……。



手にとった瞬間、キミは驚くはず。
その翼のような軽さとしなやかに。
1gでも軽くするために、あらゆる素材を
厳選し構造を何度も検証し
そして遂に、軽量でありながら
優れたクッション性と包み込む
ようなフィット感を実現させた。

夢は必ず叶うと信じるための1足。
ウエーブホープネオ
希望という名の翼、新登場。

WAVE HOPE NEO



キミに翼を。

molten[®]
For the real game



For the real game

「プレイヤーの技術や意志が100%発揮される時、スポーツは本物になる」

私たちモルテン・ブランドは、この信念をもとに

世界に類のないボールと

スポーツエキップメント・メーカーとして

つねに完璧な製品づくりを目指しています。

本大会唯一の公式試合球

BGL7
GL7 国際公式球 検定球
粘り・天然皮革、7号球



www.molten.co.jp

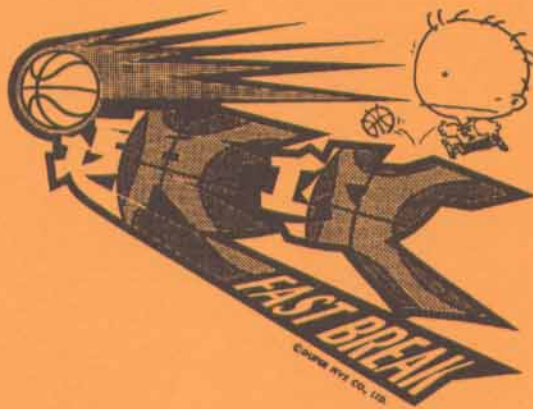
株式会社 **モルテン** 東京本社 〒130-0003 東京都墨田区横川15丁目5-7



TEAM
WORK

ONE for ALL, ALL for ONE

DUPER FIVE CO., LTD.



DUPER FIVE CO., LTD.

DEFENSE
FOOTWORK

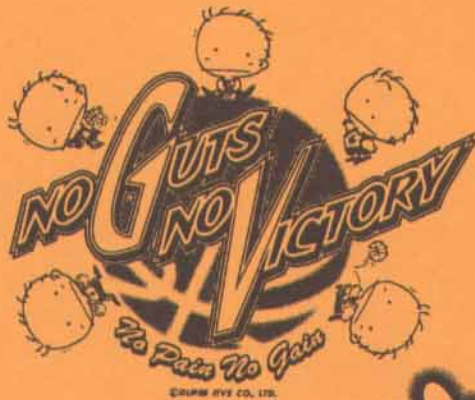


DUPER FIVE CO., LTD.



DUPER.

表現の自由人。



DUPER FIVE CO., LTD.



DUPER FIVE CO., LTD.

文武両道



DUPER®

URL : <http://www.duper.co.jp>

デューパーファイブ株式会社
〒130-0023 東京都墨田区立川3-3-5
TEL . (03)3632-7045 (代表)
FAX . (03)3632-8327

E-mail: info@duper.co.jp